



鹿剣連第176号
令和6年2月2日

本連盟
各役員
各支部長様

鹿児島県剣道連盟
会長 俣木 正喜

剣道・居合道「教士」審査会の実施について(通知)

標記審査会を別添「審査会要項」のとおり実施する旨、全剣連から通知がありました。
つきましては、本連盟から一括して申込みますので、貴支部会員で受審を希望する者には、本連盟まで直接申込むように周知して下さるようお願いいたします。

記

1 受審資格(「教士」推薦対象者)

剣道・居合道・杖道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過(令和4年5月31日以前に取得)した者

2 申込み方法

- (1) 受審希望者は、審査申込書(支部長印が必要)及び講習会受講調査表を記入の上、期日までに必着するよう申し込むこと。
- (2) 所定の教士受審申請書(手書きによる自筆、ワープロ不可、顔写真貼付)を添えること。

3 申込み先

〒890-0062
鹿児島市与次郎一丁目4-20
鹿児島県剣道連盟事務局 Tel099-255-8778

4 審査料

37,000円
※ 申込みと同時に納入してください。

5 申込み期日

令和6年3月8日(金)

6 その他

県段・級位審査及び称号受審候補者推薦規程第3条2項に、「称号を受審する者は、申込み時の過去2年間に中央講習伝達講習会又は全剣連後援講習会を1回以上受講しなければならない。」旨が規定されています。

なお、中央講習伝達講習会には、離島での講習会を含むものとします。

1. 申込対象者

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和4年5月31日以前に取得）した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文を添え、都道府県剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月6日）とする。

3. 都道府県剣道連盟の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣道連盟会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2号の付与基準に該当し、かつ、称号・段位審査実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて全剣連に送付する。

4. 申込締切 令和6年3月15日（金）

5. 申込先

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
全日本剣道連盟 電話 03-3234-6271 FAX 03-3234-6007

6. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」

*参考書籍「剣道指導要領」（全剣連発行）

- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを登録剣道連盟へ提出すること。

7. 審査会期日 令和6年5月6日（月・休）

1. 申込対象者

居合道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和4年5月31日以前に取得）した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文を添え、都道府県剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月3日）とする。

3. 都道府県剣道連盟の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣道連盟会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2号の付与基準に該当し、かつ、称号・段位審査実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて全剣連に送付する。

4. 申込締切 令和6年3月15日（金）

5. 申込先

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
全日本剣道連盟 電話 03-3234-6271 FAX 03-3234-6007

6. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 居合道の課題 「称号(教士)としての指導への取り組みについて」
- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「居合道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを登録剣道連盟へ提出すること。

7. 審査会期日 令和6年5月3日（祝）

申請番号

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣道
2. 居合道
3. 杖道
- 教士 受審申請書 (本人用)
- ※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟) 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ											
1 受審者氏名		(旧姓)												
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満	歳											
3 性別	男 ・ 女													
4 取得称号・段位	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">称号</td> <td style="width: 25%;">錬士</td> <td style="width: 25%;">段位</td> <td style="width: 25%;">段</td> </tr> <tr> <td>取得年月</td> <td>年 月</td> <td>年 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録県名</td> <td>登録県名</td> <td>登録県名</td> <td></td> </tr> </table>	称号	錬士	段位	段	取得年月	年 月	年 月		登録県名	登録県名	登録県名		顔写真を貼って から提出し てください (3 cm × 4 cm)
称号	錬士	段位	段											
取得年月	年 月	年 月												
登録県名	登録県名	登録県名												
5 全剣連番号														
6 住所														
7 電話番号		携帯番号												
8 職業	現職		前職											
	※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)													
9 全剣連社会体育 上級認定年月	年 月 認定		※上級認定者のみ記入											

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

講習会受講調査表

受審称号 教士 錬士

氏名 _____

開催年度	講習会名	出欠 (○×)
令和4年度	全剣連剣道伝達講習会	
令和5年度	全剣連剣道伝達講習会	

鹿児島県剣道連盟段級位審査及び称号受審者推薦規定 (抜粋)

(称号受審者の推薦)

第3条第2項

称号を受審する者は、申込み時の過去2年間に中央講習伝達講習会または全剣連後援講習会を2回以上受講しなければならない。と決められていますが、本年に限り特例で1回以上で認めます。

また、全剣連伝達講習会には、離島での講習会を含むものとします。